

野菜に関するアンケート 「サラダ白書 2019」調査結果

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：萩芳彰、本社：東京都調布市）は、野菜の日（8月31日）に合わせ、サラダの食文化の把握を目的とした年次調査を2010年から毎年実施し、その結果を「サラダ白書」として発表しています。

今年は、オーガニック野菜に対する意識などについて、全国2,060人の20～69歳の男女にWEBアンケート調査を行いました。また、サラダ白書10周年にあたり、過去の調査結果との比較も行いました。

<主なトピックス>

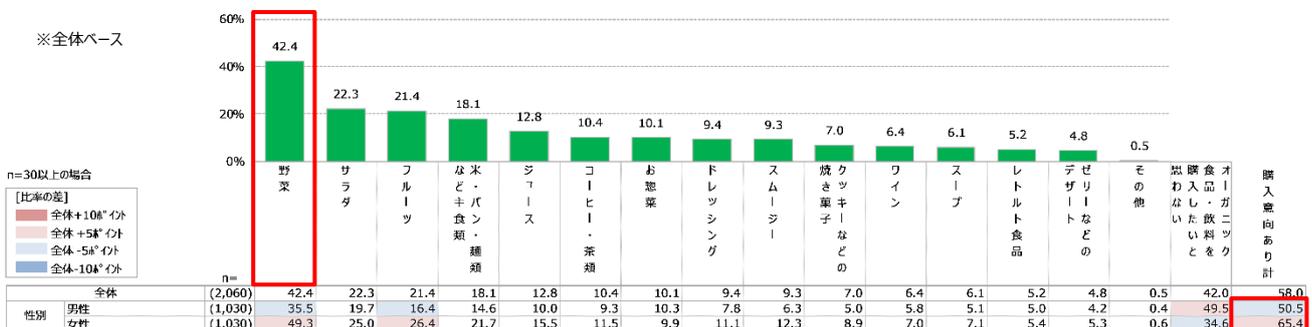
- **最も購入したいオーガニック食品カテゴリーは「野菜」**
- **4割の人がオーガニック野菜の購入経験あり
女性の50～60代は半数が購入**
- **好きな野菜&ダイエットのために食べる野菜
6年前と同様「キャベツ」が1位**
- **平日夕方スーパーで購入する時短食品は5年前に比べ増加
最も購入率が伸びているのは「パッケージサラダ」**
- **パッケージサラダの利用意向が高いのは若年層**

<主な調査結果>

■ 最も購入したいオーガニック食品カテゴリーは「野菜」

今後購入したいと思う「オーガニック食品・飲料」について尋ねたところ、「野菜」（42.4%）が突出して高く、「サラダ」（22.3%）、「フルーツ」（21.4%）の順に続きました。また、オーガニック食品・飲料の購入意向率は、男性（50.5%）よりも女性（65.4%）が高い結果となりました。

Q. あなたが今後（も）、購入したいと思う「オーガニック食品・飲料」をお選びください。（複数回答）

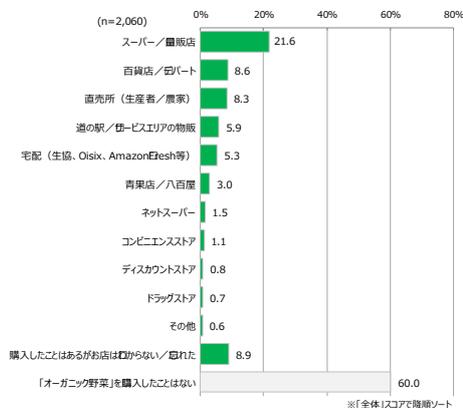
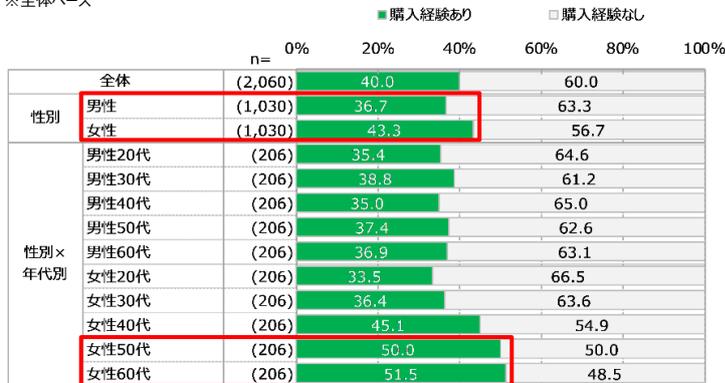


■ 4割の人がオーガニック野菜の購入経験あり 女性の50～60代は半数が購入

オーガニック野菜を購入したことがある人は全体の4割で、男女別では女性の割合が高くなっています。特に女性の50～60代が高く、半数の人が購入したことがあると答えました。購入チャネルは「スーパー/量販店」(21.6)が突出していました。

Q あなたは「オーガニック野菜」を購入したことがありますか。あてはまるお店のタイプを全てお選びください。(複数回答)

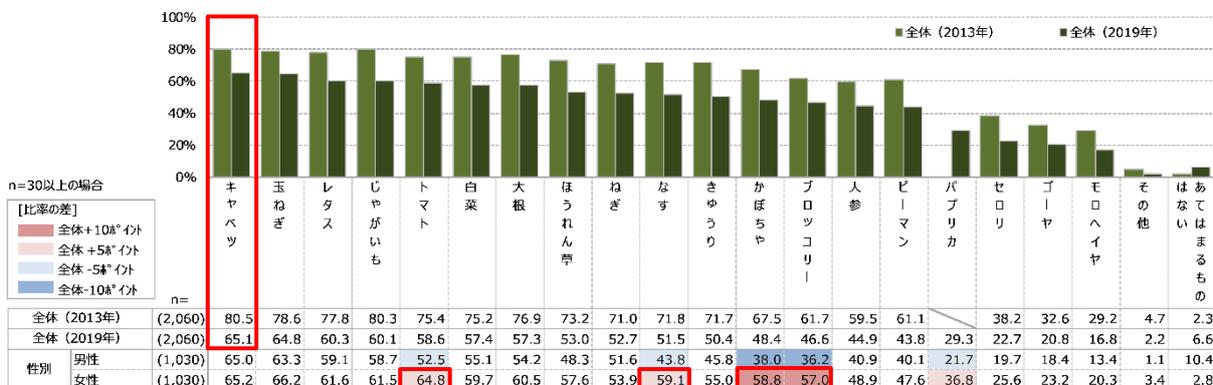
※全体ベース



■ 好きな野菜&ダイエットのために食べる野菜 6年前と同様「キャベツ」が1位

好きな野菜は、2013年の調査同様「キャベツ」(65.1%)が1位となりました。男女差が大きいのは「かぼちゃ」「ブロッコリー」「トマト」「なす」などで、いずれも男性より女性のスコアが高くなっています。

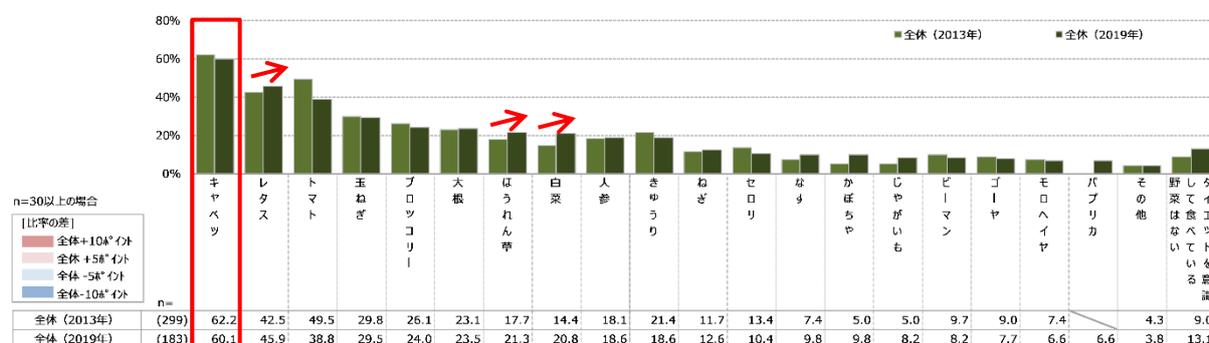
Q あなたの好きな野菜をお選びください。(複数回答)



ダイエットのために食べている野菜も、6年前と同じく「キャベツ」(60.1%)が1位で、「レタス」(45.9%)、「トマト」(38.8%)と続きました。2013年の調査と比べると「レタス」「ほうれん草」「白菜」などが増加しています。

Q ダイエットを意識して食べている野菜は何でしょうか。あてはまるものを全てお選びください。(野菜を食べる理由として「ダイエットのため」を選んだ人のみが回答)(複数回答)

※ダイエットのために野菜を食べる人ベース



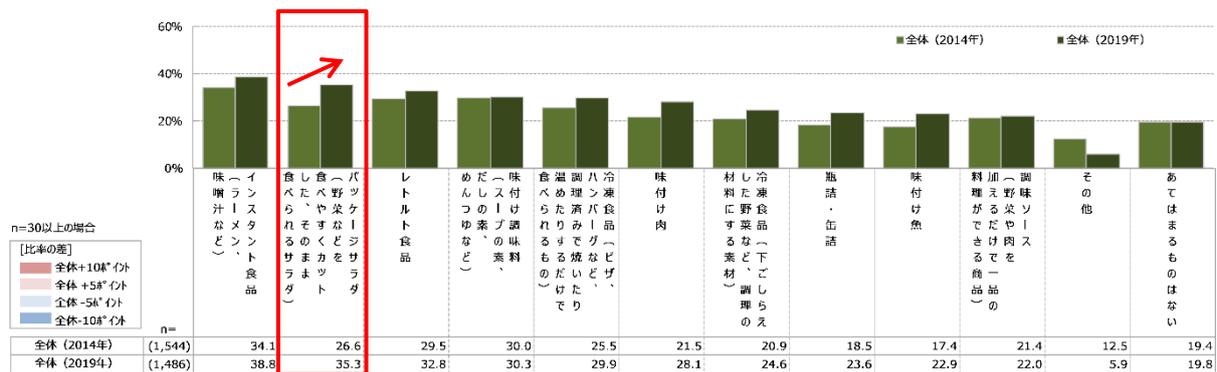
■ 平日夕方スーパーで購入する時短食品は5年前に比べ増加

最も購入率が伸びているのは「パッケージサラダ」

レトルト食品や味付け調味料など、時短食品の中で、平日の夕方から夜にスーパーで購入するものについて尋ねました。結果、「インスタント食品」(38.8%)がトップで、2位は「パッケージサラダ」(35.3%)、3位は「レトルト食品」(32.8%)となりました。2014年の調査と比べると、時短食品の購入率は全体的に上がっています。特に「パッケージサラダ」は最も購入率が伸びており、4位から2位に上昇しました。

Q 平日の夕方から夜に、スーパーマーケットで、以下のような食品を購入しますか。あなたが購入することがあるものをすべてお選びください(複数回答)

※平日の夕方スーパーで食料品を買う人ベース

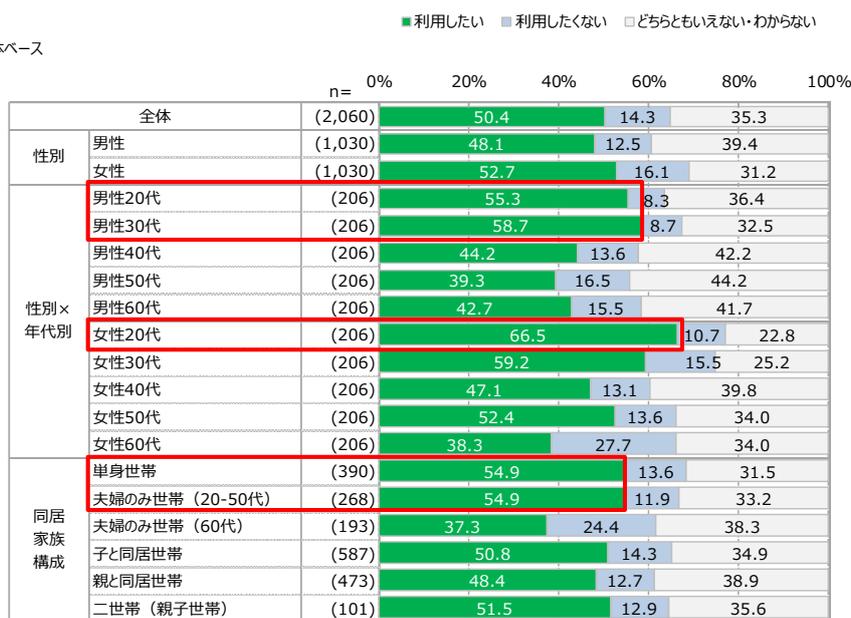


■ パッケージサラダの利用意向が高いのは若年層

パッケージサラダの利用意向は、男女ともに20代と30代が高く、若年層に支持を受けている傾向がみられます。男性は20代と30代が全体平均より高く、5割以上の方が利用したいと回答しました。女性は20代(66.5%)が最も高く、全世代の中でもトップとなりました。同居家族構成別では、単身世帯や20~50代の夫婦のみ世帯の利用意向が他と比べて高くなっています。

Q あなたは今後(も)パッケージサラダを利用したいと思われますか。1つだけお選びください。(単数回答)

※全体ベース



■サラダ白書 2019 調査概要

調査方法 : WEB アンケート調査
調査対象 : 全国の 20 歳～69 歳の男女 合計 2,060 名
調査期間 : 2019 年 2 月 28 日 (木) ～3 月 2 日 (土)

■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、色々な種類の野菜を組み合わせ、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により 1999 年に設立されました。利便性と価格が一定という経済性が支持され、需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア(金額)*を誇り、販売店舗数は 15,840 店(2018 年 11 月現在)に及びます。

* : マクロミル QPR (サラダメーカー別 2017 年 12 月-2018 年 11 月)

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 広報・広告宣伝部 吉田・東小野・荒金・藤田

TEL. 03-5384-7690 (直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町 2-5-7

<https://www.saladclub.jp> E-mail. info@saladclub.jp

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-662-831

